

しあわせ福井スポーツ協会

vol.9
2023.3

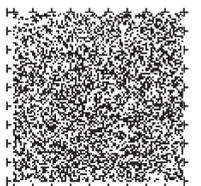


第22回 全国障害者スポーツ大会
福井県選手団 結団式



TOPICS

1. 4年ぶり「全国障害者スポーツ大会（第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」）」が開催！
2. eスポーツで施設を楽しく！
3. 車いすバスケットボール世界選手権大会で優勝した古崎選手に、しあわせ福井スポーツ協会「優秀選手賞」を贈呈！



だい かいぜんこくしょうがいしゃ たいかい いちえ たいかい ねん
第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」(4年ぶり)
 ゆめ かんどう かんどう みらい
 ～夢を感動へ。感動を未来へ。～

令和4年10月29日(土)～31日(月)の3日間
 にわたり「第22回全国障害者スポーツ大会」(いちご
 一会とちぎ大会)が、栃木県宇都宮市のカンセキスタジ
 アムとちぎを中心に開催されました。

全国障害者スポーツ大会は、国内最大の障がい者ス
 ポーツの祭典です。障がいのある選手が競技等を通じ、
 スポーツの楽しさを体験するとともに、障がいに対する
 理解を深め、障がい者の社会参加の促進を図ることを
 目的として開催されています。

福井県からは、35名(個人7競技に20名、団体1
 競技に15名)の選手が出場し、金メダル7個、銀メダ

ル5個、銅メダル10個を獲得しました。白頃の練習の
 成果を充分に発揮しメダルを獲得された選手の皆さん、
 おめでとうございます。

令和5年度は「特別全国障害者スポーツ大会」(燃
 ゆる感動かごしま大会)が開催されます。この大会は、
 令和2年度に第20回大会として開催を予定していまし
 たが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期
 されたことで、大会回数のない特別な大会として開催さ
 れることになりました。皆さんも楽しくスポーツをしな
 がら大会出場を目指しませんか。



りくじょう
陸上



すいすい
水泳



アーチェリー



ボウリング



ボッチャ



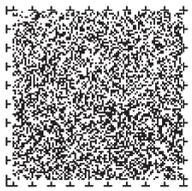
フライングディスク



たつきゅう
卓球



フットソフトボール



「いちご一会とちぎ大会」福井県選手の成績

●金 7 個 ●銀 5 個 ●銅 10 個 合計メダル 22 個



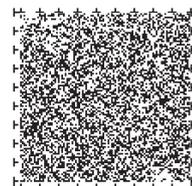
●個人競技

競技名	選手氏名	障がい種別	出場種目	成績	記録
陸上競技	林 昌 代	肢体	50m	1位 金	10秒 20
			はしりはばとび 走幅跳	1位 金	2m39cm
	川 上 秀 太	視覚	100m	1位 金	10秒 99
			200m	1位 金	22秒 40
	佃 和 成	聴覚	ソフトボール投	1位 金	64m12cm
			ほうがんげ 砲丸投	5位	8m68cm
	赤 澤 裕 樹	知的	100m	2位 銀	12秒 20
			200m	5位	25秒 12
	池 尾 明 倫	知的	50m	1位 金	8秒 25
			200m	6位	34秒 51
	木戸口 奏 汰	知的	50m	3位 銅	7秒 10
			ソフトボール投	6位	60m09cm
西 尾 圭 矢	知的	200m	2位 銀	25秒 11	
		400m	4位	55秒 16	
赤澤、西尾、池尾、木戸口			4 × 100m リレー	3位 銅	51秒 57
水泳	上 野 倅 生	肢体	25m 自由形	1位 金	19秒 41
			50m バタフライ	—	—
	中 村 弾	知的	50m 自由形	3位 銅	41秒 00
			50m 背泳ぎ	3位 銅	54秒 27
アーチェリー	三 井 政 明	肢体	リカーブ 30m ダブルラウンド	4位	539点
卓球	さい 藤 雅 之	肢体	いっばんたつきゅう 一般卓球	2位 銀	3点
	いわ 岩 佐 昌 宗	知的	いっばんたつきゅう 一般卓球	2位 銀	3点
	かさ 笠 嶋 綾 子	精神	いっばんたつきゅう 一般卓球	3位 銅	4点
STT	橋 もと 泰 治	視覚	STT (サウンドテーブルテニス)	3位 銅	2点
フライングディスク	まつ 松 浦 藤 信	肢体	アキュラシー ディスリート・ファイブ	3位 銅	9投
			ディスタンス メンズ・スタンディング	3位 銅	23m78cm
	かた 片 山 悠 太	知的	アキュラシー ディスリート・ファイブ	2位 銀	8投
			ディスタンス メンズ・スタンディング	4位	34m20cm
ボウリング	つじ 辻 際 大 介	知的	ボウリング	5位	585点
	わた 渡 邊 敬 汰	知的	ボウリング	3位 銅	656点
ボッチャ	にし 西 田 光 一	肢体	ボッチャ	3位 銅	2点
	やま 山 内 武 雄	肢体	ボッチャ		

※ボッチャは2人で1チームを構成

●団体競技

競技名	チーム名	成績
フットソフトボール	福井スティールーズ	交流戦3位



第12回福井県障がい者スポーツ大会

第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）の福井県代表選手の選考会を兼ねた、第12回福井県障がい者スポーツ大会が、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、令和4年5月28日（土）、29日（日）、6月4日（土）、5日（日）の4日間をわたり開催されました。有観客での開催は、3年ぶりとなりました。

福井県営陸上競技場（9.98スタジアム）など県内

6会場で、陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ポウリング、ボッチャの8種目に約400人の選手が出場し、自己記録の更新や勝利を目指して熱戦を繰り広げました。

運営にご協力いただいた関係者の皆様、ボランティアの皆様には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



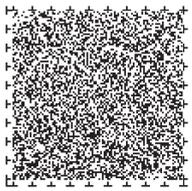
eスポーツを楽しもう

eスポーツは、年齢や性別、障がいの有無や程度に関わらず楽しむことができます。今年度から、eスポーツを楽しみながら、交流を深める事業を始めました。

まず、eスポーツの魅力や効果について理解を深めるため、令和4年4月24日（日）に福井県営体育館サブアリーナで「障がい者eスポーツスタートアップ講習会」を開催しました。障がい者施設の職員やその利用者等約100名の皆さんが参加されました。また講

習会には、福井県eスポーツ学生協議会に加入している仁愛女子高等学校eスポーツ部員の皆さんがボランティアとして参加され、eスポーツで対戦するなど交流を深めました。

また、県内の障がい者福祉施設5施設に、eスポーツ機器購入を応援しました。各施設では日中活動や余暇活動にeスポーツを取り入れるほか、交流会などを開催し、友人や家族、地域の学生等との交流を深めています。



福井しあわせパラ☆スポーツデー

令和4年9月3日(土)に、「福井しあわせパラ☆スポーツデー」を開催しました。

県営体育館メインアリーナでは、「障がい者スポーツ運動会」を開催し、卓球バレー、パン釣り競争、風船割りリレー、ピンポン球運びリレー、玉入れ、ソフトバレーボールの6競技に約500人の皆さんが参加しました。また、サブアリーナでは、モルックやフライングディスク

ク、eスポーツ等の体験会を開催しました。

陸上競技場では、パラリンピアンが多川知希選手(100m)、高桑早生選手(走り幅跳び)による講習会を開催し、児童を中心に約70人が速く走るコツを学びました。

その他、県営体育館前芝生広場では、ダンスイベントの開催やキッチンカーもやってきて、とても楽しいイベントとなりました。



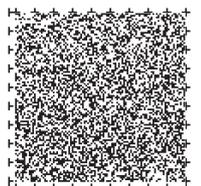
障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催

令和5年1月14日(土)、1月15日(日)、1月21日(土)、1月22日(日)の4日間をわたり、敦賀市(福祉総合センター「あいあいプラザ」、市民文化センター)で、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催し、新たに7名の指導員が誕生しました。

講習会では、障がいの特性、障がい者スポーツの

基本的な知識や指導法を学ぶとともに、障がい者の皆さんと一緒に卓球バレー、スティックリングなどのスポーツも体験しました。

新たに誕生した指導員からは「講習会で得た知識を活かし、障がい者のスポーツ活動をサポートしていきたい」など、力強い抱負が聞かれました。



障がい者スポーツについて学ぶ機会を提供しました

県内の児童・生徒に障がい者スポーツを体験してもらう出前講座を県内70の小・中学校で開催し、約3,500人が参加しました。令和4年度からは、東京2020パラリンピックに出場した西島美保子選手による講話もメニューに追加し充実させ、昨年度より参加校20校、参加者約700人の増加となりました。

児童・生徒は、古崎選手をはじめとした障がい者アス

リートや指導員と一緒に車いすバスケットボールや、アイマスクをした状態での陸上伴走、ボッチャ、フライングディスクなどの体験を通して、障がいへの理解を深めるとともに障がい者スポーツの楽しさを実感しました。

また、夢や目標に向かって努力するアスリートの姿や講話を聞いて、挑戦することの大切さも学びました。



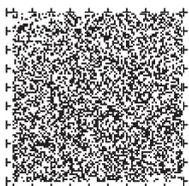
障がい者スポーツ教室の開催

障がいのある方が気軽に参加できるスポーツ教室を、障がい者スポーツ競技団体や総合型地域スポーツクラブなどで開催しました。

スポーツ教室では、ソフトバレーボール、スティック

リング、ボウリング、卓球バレー、車いすテニスといった、様々なスポーツを楽しむことができます。

令和4年度は約350回開催し、延べ3,200人の皆さんが参加しました。



コラム

ふるさきせんしゅ 古崎選手が2021 IWBF 男子U23車いすバスケットボール せかいせんしゅけんたいかい 世界選手権大会で優勝しました！



2021 IWBF 男子 U23 車いすバスケットボール世界選手権大会で、ふるさきりんたろうせんしゅ (えいへいじちよう 古崎倫太郎選手 (永平寺町、あいおいニッセイ同和損保) がメンバーの にほんだいいひよう はつゆうしやう 日本代表が初優勝しました。

当協会では、県内の障がい者スポーツの発展に著しく貢献された功績をたたえ、令和4年10月15日(土)に開催された「スポカル FUKUI ~はぴりゅうフェスタ 2022~」のステージプログラムで、しあわせ福井スポーツ協会「優秀選手賞」を贈呈しました。

体格で勝る外国人選手相手にも、果敢に立ち向かうその姿は、県民に多くの感動と希望を与えてくれました。ふるさきせんしゅ 古崎選手、本当におめでとうございました。



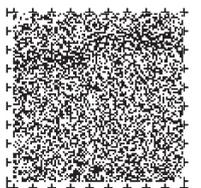
きこうぶん 寄稿文 せかいせんしゅけんたいかい 世界選手権大会をふりかえって

今大会は6年前に先輩たちが悔しい思いをした分、「日本代表チームでメダルを獲得する」、それも「金メダル」を獲得することを目標に掲げ合宿などを行ってきました。6年前は自分はまだ高校一年生で先輩たちの試合をずっと眺めているだけの大会でした。その後自分の武器である、アウトサイドシュートやドライブイン、クイックネスを強化し大会に臨みました。

大会初戦、日本チームはトルコと戦いました。1Qの5分、日本チームは得点が取れずリズムを掴めませんでした。そこで自分が呼ばれコートに立ちました。呼ばれた瞬間、自分は自分の仕事(シュートを決めること)を全うすることだけ考えていました。自分は立て続けに得意のアウトサイドシュートを決めチームに勢いをもたらし、初戦を勝利で勝ち切ることが出来ました。その後の2回戦・3回戦と勝ち続け、優勝候補のスペインと準決勝で対戦しました。予選リーグでは敗れた相手でしたが、準決勝では勝つことが出来ました。試合終了まで残り約10秒、スペインボールで同点でした。決められたら絶対絶命の危機に、相手選手を自分がサイドラインに追い込んだことで、相手選手がサイドラインを踏んでしまい、相手ボールから自分たちのボールへと変えることができた結果、勝利に貢献することが出来ました。その後の決勝でもトルコ相手に勝利することができ、世界一位を獲得できました。6年前の先輩たちの悔しい思いを晴らすことができ、最高うれしかったです。



ふるさき りんたろう 古崎 倫太郎



おんせい 音声コード 『Uni-Voice』

本機関紙は右下の音声コードを利用することで自動読み上げができます。音声コードは、スマートフォン等に『Uni-Voice』のアプリをダウンロードし使用します。「App Store」または「Google Play」より『Uni-Voice』で検索してください。



マウスガードの装着をおすすめします

福井県では、令和3年4月に「歯と口腔の健康づくり推進条例」が施行されました。マウスガードには、口腔外傷からアスリートを守ってくれるだけでなく、スポーツパフォーマンスの維持・向上を手助けする効果もあります。ボクシングや空手では装着が義務化されていましたが、近年、サッカー、野球、レスリングなど、装着が推奨されているスポーツは増加傾向にあり、使用する選手も年々増えています。これを機に、皆さんも装着を検討してみてください。



令和5年度の行事予定

令和5年度に実施が予定されている行事は以下のとおりです。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日	行事名	会場
令和5年4月23日(日)	障がい者eスポーツ講習会	福井県営体育館 大会議室
令和5年5月27日(土)	一般卓球	福井県営体育館 サブアリーナ
	サウンドテーブルテニス	(福)福井県視覚障害者福祉協会 ちいきかつどうしえん 地域活動支援センターわいわい
	アーチェリー	福井県立アーチェリーセンター
	水泳	福井県営水泳場
	ポウリング	スポーツプラザ WAVE40
	ポッチャ	福井県営体育館 サブアリーナ
	フライングディスク	福井県営陸上競技場
令和5年6月3日(土)	第13回 福井県障がい者 スポーツ大会	福井県営陸上競技場
令和5年6月4日(日)		福井県営陸上競技場
令和5年9月23日(土)	福井しあわせパラスポーツデー 障がい者eスポーツ交流会	福井県営体育館 メインアリーナほか
令和5年10月28日(土)~30日(月)	全国障害者スポーツ大会	鹿児島県内各会場
令和6年2月中旬ごろ	初級パラスポーツ指導員養成講習会	福井県営体育館 大会議室ほか

当協会の会員を募集しています

障がい者スポーツを振興するためには一人でも多くの方々のご理解とご協力が必要です。

障がい者スポーツの普及や振興、また当協会の活動について、法人、団体、個人会員、賛助会員として、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



詳しくはホームページをご覧ください！

編集後記

車いすバスケットボール世界選手権大会で優勝された古崎選手をはじめ、近年本県出身のトップアスリートによる目覚ましい活躍が続いています。

引き続き、当協会では、障がい者がスポーツを楽しめる環境づくりのお手伝い、障がい者アスリートの育成に取り組んでまいります。

末筆ながら、当協会の事業にご協力いただいている皆様には、心より感謝申し上げます。

<編集・発行>

しあわせ福井スポーツ協会

〒918-8027 福井市福町 3-20
TEL.0776-43-9712 FAX.0776-43-9713
E-mail.h-sports291@axel.ocn.ne.jp

▼当協会ホームページもぜひご覧ください

